

## 浜松フラワーパークに花(ベゴニア)のシャンデリア!

今月は、リニューアルなった浜松フラワーパークのご紹介です。館山寺温泉の隣に立地するフラワーパークは昭和45年(1970)浜松市の施設として開園し、市民・近郊の人達に憩いの場として楽しまれてきましたが、老朽化が進み来場者の減少傾向が顕著となり、てこ入れが必要となっていました。

この度、メイン施設であった鑑賞温室を中心にリニューアル工事が完成しこの3月末リニューアルオープンされたものです。中心施設となる温室部は「クリスタルパレス」とネーミングされた宮殿風の鑑賞温室(幅24m奥行60m高さ16m)です。中央の噴水池の対岸にそそり立つ温室は、まさしく宮殿そのものといったたずまいで、威容を誇っています。弊社は、この中にベゴニアのハンギング栽培システム(つるシステム)を納入いたしました。エントランス部の天井からベゴニアの鉢(弊社施工)が吊下げられており、その花の下を通り内部へ入っていきます。赤・白・黄のカ

ラフルなベゴニアの鉢のお出迎えは、来場者に新鮮な驚きを与える仕掛けとなっています。このシステムは、なばなの里(三重県)で、好評を博しているシステムですが、これらの実績・効用を評価されて、今回、他展示システムと競合の上採用されたものです。

工事は、昨年8月から開始し、この3月完成となったものです。来場者増大の切り札としての施設であることから、展示内容は、春「ヨーロッパ調」、夏「アジア調」、秋「アメリカン調」、冬「クリスマス調」と時期によってガラリと変え、折々に訪れる来場者が楽しめるよう工夫されていくとの事です。その時々には、展示草花もテーマに沿ったストーリー性を持たせた内容とされるようで、オープニング時は、ヨーロッパ調にあわせて「不思議の国アリス」の世界でした。各種草花、樹木、トピアリ(花人形)が飾られ、メルヘンチックな雰囲気を出しています。展示ルートに従って歩いていくと、バリ島の宮殿庭

園を模した「バリガーデン」、サボテンの珍しい品種が集められている「メキシカンガーデン」など、植物好きにはたまらない趣向となっています。培地は約1mも掘り下げ培土を入れ込み、多種多様の植物が植わっているため、弊社システムを除いて灌水は、あえて手やりにしたとのこと。これらの維持管理に携わる方々の苦労も大変だとのことですが、来てもらえる人に喜んでもらうためと納得顔でした。

温室リニューアルにあわせて、入口ゲート部・レストラン・売店エリアも全面改装され、海外の園芸用品など他では手に入らないグッズも販売されています。広大な敷地には、桜・つつじをはじめとして種々の草木も植えられており、四季を問わず楽しめそうです。

開園そうそうの評判は上々のようでこのゴールデンウィークの来場者増に期待されています。お近くにお越しの際は、ご家族お揃いでぜひ覗いてみてください。(川村庄一)



予告(第1報)全国M式水耕技術研究大会7月15日(火)~16日(水)名古屋で開催!  
名鉄グランドホテル(名古屋駅前)で開催します。詳細決定しだい、お知らせします。